

おけさ唄えば (1961)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1961/04/05

【解説】

「サラリーマン忠臣蔵」の笠原良三によるオリジナル脚本を「忠直卿行状記」の森一生が監督した、明るくコミカルな股旅もの。市川雷蔵と橋幸夫が初めて顔を合わせた。雷蔵は悪人を目指しながらも結果的に人助けをしてしまう主人公を好演している。

一本松の千太郎は出世のために悪党の性格を身につけようと旅を続けていた。信越の山道でおけさの半次に斬りつけられるが、お互い気っぶの良さを認めきれいに別れた。千太郎は弥彦の勝五郎という旅人と一緒になるが、彼は実はお勝という名の女だった。ひょんなことから半次の姉であるお君を助けた千太郎は、勝五郎の父の勘治郎一家で草鞋を脱ぐが、そこにはすでに半次も来ていた。勘治郎一家と敵対する黒姫一家から喧嘩状が届くと、千太郎はひとり黒姫一家に寝返ってしまうのだったが…。

【クレジット】

監督 森一生

企画 奥田久司

脚本 笠原良三

撮影 本多省三

美術 太田誠一

音楽 塚原哲夫

出演 市川雷蔵

橋幸夫

水谷良重

三木裕子

小桜純子

島田竜三

中村鴈治郎

毛利郁子

寺島雄作

尾上栄五郎

東良之助

水原浩一

金剛麗子

寺島貢